

令和 7 年 12 月 16 日

国土交通省関東地方整備局

企画部

令和 7 年度「手づくり郷土(ふるさと)賞」(国土交通大臣表彰)の認定 ～関東地方整備局管内から 3 件の活動が認定されました！～

国土交通省は、社会資本と関わりをもつ地域づくりの優れた取組を推進するため、全国各地から応募のあった活動の中から、一般部門で 10 件の優れた活動を、令和 7 年度の「手づくり郷土賞」として認定しました。

このうち関東地方整備局管内からは、3 件が認定されました。

■関東地方整備局管内の認定団体（一般部門）

○団体名：特定非営利活動法人 水辺環境保全研究所

活動名：鬼怒川中流域の生物多様性を守る（栃木県 さくら市・宇都宮市）

○団体名：特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム

活動名：荒川を"首都圏の里川"に荒川クリーンエイド
(埼玉県 戸田市他・東京都 板橋区他)

○団体名：私立向上高等学校 なおき会

活動名：高校生の力で育む未来
～子どもから大人まで、多様な世代がつながる公園愛護会～(神奈川県 伊勢原市)

※活動の詳細は資料 1、資料 2 をご覧ください。

■令和 7 年度 手づくり郷土賞 受賞記念発表会の開催

全国に優れた取組が広がることを目的に、手づくり郷土賞の受賞者から活動の紹介を行っていただく発表会を開催します。

○日時：令和 8 年 3 月 1 日（日）13 時 00 分～16 時 00 分（予定）

○場所：一橋講堂（東京都千代田区一ツ橋 2 丁目 1 番 2 号）

※その他詳細については後日、国土交通省ホームページにてお知らせします。

<発表記者クラブ> 竹芝記者クラブ、神奈川建設記者会、茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、刀水クラブ・テレビ記者会、千葉県政記者会、都庁記者クラブ、神奈川県政記者クラブ、山梨県政記者クラブ、長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、長野市政記者会

<問い合わせ先>

関東地方整備局 企画部

電話：048-601-3151（代表） FAX：048-600-1373

広域計画課 課長 近藤（こんどう） 内線：3211

広域計画課 課長補佐 青木（あおき） 内線：3214



令和7年度 手づくり郷土賞 認定案件

<一般部門>

No	地方	都道府県	市区町村	案件名	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
1	北海道	北海道	栗山町	ホタル舞い、サケが遡上する郷土（ふるさと）の川 ～童謡のみえる里山づくり～	栗山町ハサンベツ里山計画実行委員会、夕張川自然再生協議会、栗山オオムラサキの会	
2	東北	山形県	米沢市	未来へつなぐ 萬世大路 ～ 総合学習と観光創造 ～	歴史の道土木遺産萬世大路保存会	山形県置賜総合支庁・米沢市建設部土木課
3	関東	栃木県	さくら市・宇都宮市	鬼怒川中流域の生物多様性を守る	特定非営利活動法人 水辺環境保全研究所	国土交通省関東地方整備局下館河川事務所
4		埼玉県・東京都	戸田市他・板橋区他	荒川を“首都圏の里川”に荒川クリーンエイド	特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム	国土交通省関東地方整備局荒川下流河川事務所
5		神奈川県	伊勢原市	高校生の力で育む未来 ～子どもから大人まで、多様な世代がつながる公園愛護会～	私立向上高等学校 なおき会	伊勢原市都市部都市政策課
6	北陸	新潟県	長岡市	震災の記憶から防災を学ぶ よりみち街道『中越』 ～中越地震からの復興と活性化～	特定非営利活動法人 くらしサポート越後川口	
7	中部	岐阜県	七宗町	七宗町における持続可能なまちづくり ～プロジェクト1184～	岐阜県 加茂郡 七宗町役場 建設課	岐阜県 加茂郡 七宗町役場
8	中国	岡山県	笠岡市他	備中とと道トレイル60km ～ 歩こう 愛そう いつまでも～	備中とと道トレイル推進協議会	
9	四国	高知県	日高村	巨大な水のトンネルは、未来へのトビラ。 ～新日下川放水路のインフラツーリズム～	日高村 ／ 一般社団法人日高村観光協会	国土交通省四国地方整備局高知河川国道事務所
10	沖縄	沖縄県	伊江村	伊江村野球場を活用した地域活性化 ～子どもたちの夢が広がる～	一般社団法人 伊江島観光協会	沖縄県伊江村

<大賞部門>

No	地方	都道府県	市区町村	案件名(過去の受賞年度)	応募者	
					地域活動団体	社会資本管理団体
該当なし						

関東地方整備局管内 認定案件【一般部門】

鬼怒川中流域の生物多様性を守る

(栃木県・さくら市、宇都宮市)



保全対象のシルビアシジミ



小学生による外来種駆除活動

<活動内容>

本会が保全対象としたシルビアシジミは、1877年に、栃木県さくら市上阿久津地内の鬼怒川河川敷にて採集、新種として記録された。栃木県でも絶滅危惧Ⅰ類に指定されるとともに、自然環境保全地域として鬼怒川河川敷の3エリアが指定されている。このような中、地域の協力者を募り、2003年に保全活動を開始し、主に保全地の管理活動、外来種駆除等の体験授業(環境教育)や自然観察会を継続的に実施している。その他、様々な行政機関からの講師依頼や執筆依頼に加え、ラジオやテレビなどの取材を受け、活動がとりあげられている。

特定非営利活動法人 水辺環境保全研究所

<対象となる社会資本>

一級河川 鬼怒川 ※管理者:関東地方整備局 下館河川事務所

荒川を“首都圏の里川”に荒川クリーンエイド (埼玉県・戸田市他、東京都・板橋区他)



荒川クリーンエイド説明会



関東圏の企業への講演活動

<活動内容>

荒川クリーンエイドは、荒川下流工事事務所(当時)と協働し高度経済成長期に汚染された荒川を再生し、豊かな自然と地域の絆を強固にするため、1994年に荒川放水路通水70周年を記念して始まった。(特非)荒川クリーンエイド・フォーラムをハブとして、市民団体、行政/自治体、企業、学校など多様な団体で構成され、活動内容は「調べるごみ拾い」を軸とし、ごみの種類と数を記録することで環境問題への気づきを促し、データを活用して発生源の特定や啓発に取り組んでいる。また、生物多様性の保全、環境教育、情報発信などを通じて、荒川流域に創出された自然と人々の暮らしを未来へつなぐ活動を続けている。

特定非営利活動法人荒川クリーンエイド・フォーラム

<対象となる社会資本>

一級河川 荒川 ※管理者:関東地方整備局 荒川下流河川事務所

関東地方整備局管内 認定案件【一般部門】

高校生の力で育む未来

～子どもから大人まで、多様な世代がつながる公園愛護会～（神奈川県・伊勢原市）



公園遊具の隅々まで清掃



毎年大盛況のハロウィンイベントでの集合写真

＜活動内容＞

高等学校の生徒会である「なおき会」では、様々なボランティア活動を実施しており、その一環として地域や地域住民との交流活動がある。活動は「公園の清掃」と「公園にいる子供達との交流」を合わせて基本活動としており、清掃後に子供達と会話やダンス、キャッチボール等をするなど、参加した生徒自身、子供達にとっても楽しい活動となっている。また、活動日を地域の自治会主催のイベントに合わせ、イベント前の清掃・準備、片付けまでを地域住民と一緒にやり、地域のニーズにもこたえながら交流を深めており、公園の維持管理のみならず、世代間の壁を越えた地域コミュニティを形成している。

私立向上高等学校 なおき会

＜対象となる社会資本＞

城ノ腰公園 ※管理者：伊勢原市

◆手づくり郷土賞の概要

地域の個性・魅力を創出し、良質な社会資本及びそれと関わりをもつ優れた地域活動を広く募集・発掘し、これらを全国に広く紹介することにより、個性あふれ活力ある郷土づくりに資することを目的として、昭和61年度に創設された国土交通大臣表彰制度。令和7年度で40回目。

【大賞部門】

過去に受賞した団体で、その後の活動が発展している団体を対象とした部門

【一般部門】

はじめて受賞する団体を対象とした部門

(参考)手づくり郷土賞の過去の受賞案件は以下のURLに掲載しています。

<https://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/teдукuri/>

◆手づくり郷土賞選定委員会

有識者からなる手づくり郷土賞選定委員会により、幅広い観点から審査し選定します。

手づくり郷土賞選定委員会（令和7年度）

委員長	野澤 康	工学院大学 建築学部まちづくり学科 教授
委員	小浦 久子	奈良文化財研究所 文化遺産部 景観研究室 客員研究員
委員	斉藤 俊幸	イング総合計画株式会社 代表取締役／地域再生マネージャー
委員	坂元 英俊	一般社団法人 地域観光研究所 代表理事
委員	真田 純子	東京科学大学 環境・社会理工学院 教授
委員	西村 浩	株式会社ワークヴィジョンズ 代表取締役

(敬称略)